



資料2 (2)  
(イ)

# 2019年 自治体ナツジ元年を振り返る

2019年12月26日

神奈川県政策局未来創生課

野崎 真子

# 目次

- **神奈川県の実施**
  - **県事業へのナッジ活用**
  - **職員へのナッジの普及**
- **2020年の計画（案）**

# 神奈川県の取組

## ■ 県事業へのナッジ活用

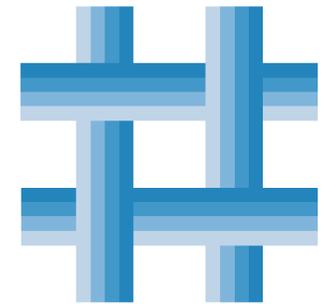
1. 風しん抗体価調査事業 [実施中]
2. 「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発 [実施済]
3. 県立学校授業料徴収事務 [実施中]

# 風しん抗体価調査事業

## 解決しようとした社会課題

- ①：風しんの予防啓発
- ②：県在住の方の風しん抗体価を調査し、その結果を今後の取組に活用する

# 「ともに生きる社会かながわ憲章」 の普及啓発



## 解決しようとした社会課題

- ① : 「ともに生きる社会かながわ憲章」  
の認知度向上
- ② : とともに生きる社会に向けた行動の促進

ともに生きる社会  
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

# 実施体制

## ■ 事業所管課

福祉子どもみらい局共生社会推進課

## ■ アドバイザー

横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科  
准教授 黒木 淳

## ■ 調査対象

横浜市立大学国際総合科学部の学生  
横浜市立大学医学部看護学科の学生

# 実施内容

津久井やまゆり園事件  
この悲しみを力に、  
ともに生きる社会を実現します

平成28年7月26日、障害者支援施設である  
県立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。  
このような事件が二度と繰り返されないよう、  
私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、  
ともに生きる社会の実現をめざし、  
ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。



ともに生きる社会  
かながわ憲章

一 私たちは、あなたがいち心をもって、  
すべての人のいのちを大切にします  
一 私たちは、誰もがその人らしく、  
暮らすことのできる地域社会を実現します  
一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる  
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します  
一 私たちは、この憲章の実現に向けて、  
県民総ぐるみで取り組みます。

平成28年10月14日 神奈川県

額字「ともに生きる」  
ダウン症の女流書家 金澤翔子  
本稿の取り組みや金澤翔子さんの草上揮毫の動画などは、  
こちらから「ともに生きる社会かながわ」検索

この憲章は神奈川県と神奈川県議会が共同して策定したものです。  
問合せ先 神奈川県福祉子どもみらい情報部共生社会推進課 電話 045-210-4961 FAX 045-210-8854



Kanagawa Prefectural Government

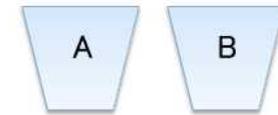
## クイズ

「**ともに生きる社会かながわ憲章**」  
あなたは知っていますか？

A [知らない] B [知っている]



憲章に係る取組みについてはこちら ⇒



投票用ごみ箱

## 他者との比較メッセージ

神奈川県民の**200万人弱**が知っている！

「**ともに生きる社会かながわ憲章**」



憲章に係る取組みについてはこちら ⇒

## 互恵性メッセージ

もしあなたや大切な人が困っているときに、  
手助けをしてほしいですか？

もしそうなら、

「**ともに生きる社会かながわ憲章**」を知って、  
行動してみましよう。



取組みをご覧ください ⇒

# 実施内容

## コミットメントカード

(表)



ともに生きる社会  
かながわ憲章  
KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

- 私たちは、あたたかい心をもって、  
すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる  
地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる  
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、  
県民総ぐるみで取り組みます



神奈川県

平成28年10月14日 神奈川県

(裏)

**私は次のことに取り組むことを誓います**

- 困っていそうな人がいたら  
声をかけて困りごとを聞いてみます
- 優先席や車いすスペースは  
必要とする人にゆずります
- 目の不自由な人が迷っていたら  
声をかけて誘導します
- \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



## 目標行動をコミットメント



# 県立学校授業料徴収事務

解決しようとした社会課題：  
県立学校授業料の早期納入

# 神奈川県の取組

## ■ 職員へのナッジの普及

1. ナッジセミナー in 神奈川県庁  
ちょっとした工夫で人を動かす方法  
[2019年7月23日]
2. 職員からアイデア募集 [2019年8月]
3. 部局での研修会 [2020年]
4. 有志職員による研修会 [2019年12月6日]  
ランチミーティングなど

# ナッジセミナー in 神奈川県庁

## 「ちょっとした工夫で人を動かす方法」



😊業務に役立つ知識が得られ、とても良かったです。  
😊ワークショップに参加していない方にも共有したいと思いました。  
😊ナッジの考え方が参考になりました。

# 2020年の計画（案）

## ■ 県事業へのナッジ活用

1. 省エネルギー診断事業 [検討中]
2. 自治会・コミュニティ活性化 [検討中]

✓ 効果があると見込まれたものについては、規模を広げて実施、事業所管課で自走化を目指す

# 2020年の計画（案）

## ■ 職員へのナッジ普及

### 1. 研修会の充実

⇒ 新採用職員研修や管理職研修など  
ターゲットを絞った実施を検討

### 2. 活用事例の紹介

✓ ナッジの実践を試みたい所属・職員の  
サポートも行う